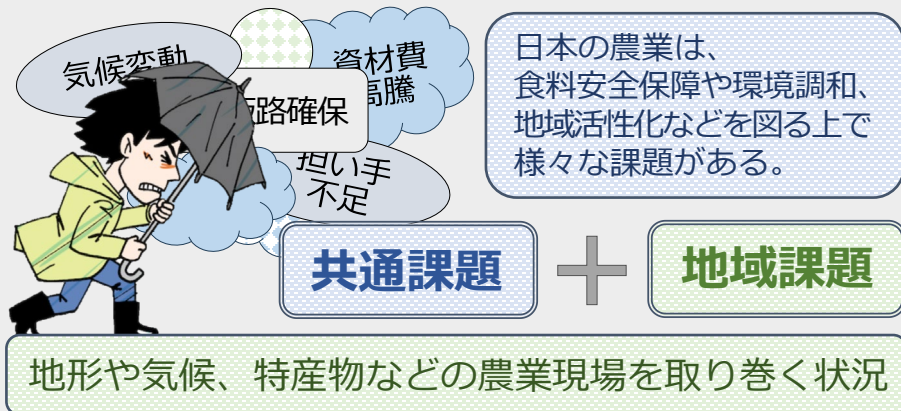


研究開発の現場ニーズを共有する取組 「技術的課題」の活用について

令和7年12月
農林水産省
大臣官房政策課技術政策室

現場の声から考える農業の未来

農業の抱える課題

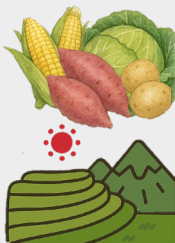


地域の声を反映した技術開発の必要性

農業の課題を技術的に解決しようとする場合、地域の特性にあったものでなければ、現場では使われない。そのため、**地域特有の事情から来る現場の声が重要**であり、**優先度や重要度を的確に把握し、技術開発や施策へ反映させることが不可欠**。

地域特性の多様性・技術の適合性の重要性

- 地域ごとに気候や土壌、作物、経営スタイルが異なり、技術導入による効果も異なる。
- 平地と中山間地では必要な技術や設備が異なり、地域に合った技術開発が必要。

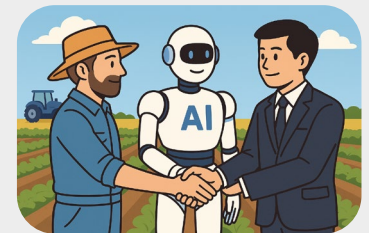


現場×技術×政策



三位一体

現場・技術・施策が連携し、現場の声を捉えた実践的な解決策を形にする。



共通課題＋地域課題
→ 三位一体のアプローチ

農林水産省の取組

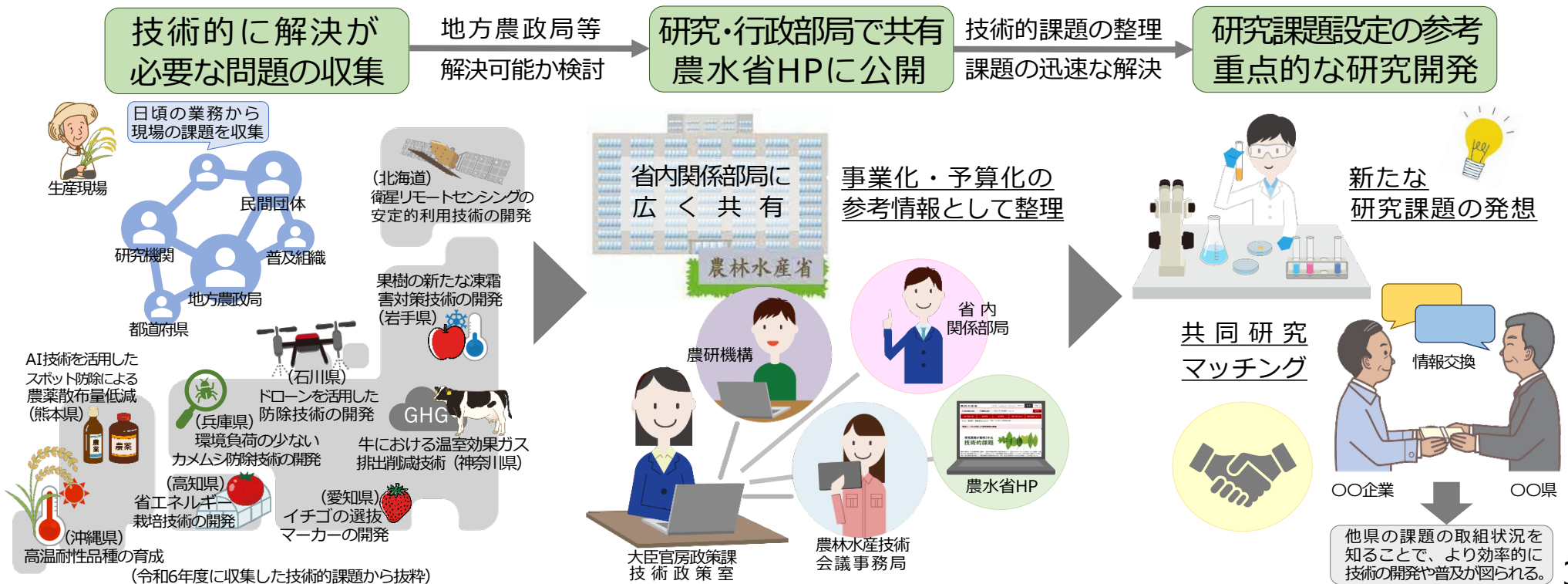
研究開発が期待される 技術的課題

農業現場の課題やニーズが技術開発と施策形成の基礎となり、持続可能な農業を支える。



現場ニーズに対応した研究開発の推進

- 農林水産省は、地方農政局等と連携し、管内の都道府県及び関係団体から、生産現場等で問題になっている技術的課題を取りまとめ、研究プロジェクトを統括する農林水産技術会議事務局をはじめ、省内に広く共有しています。
- 収集された技術的課題から現場ニーズを把握することで、研究プロジェクトの立案や、事業化・予算化に向けた参考情報として活用しています。
- さらに、農林水産省のホームページで公開しており、国立研究開発法人、公設試験場、大学、民間企業など、関係者間で課題を把握・共有し、迅速な解決を推進するとともに、新たな研究課題の創出や連携のきっかけを生み出すことを目指しています。



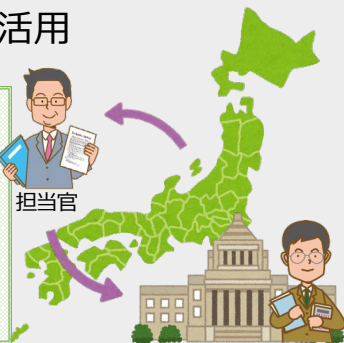
収集された技術的課題の活用例

研究事業の新規・拡充の素材

予算要求等の企画立案

どこの県のどこの地域から課題が出ているのかを把握し、予算要求等の説明や根拠資料として活用

関連するキーワードを入れて、課題や要望がないか、現場から何件の声が上がっているかなどを調べています。全国各県での課題や要望について、どのような事業で実施可能か、現場の問題解決を図り、様々なアプローチを実施しています。

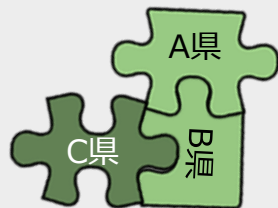
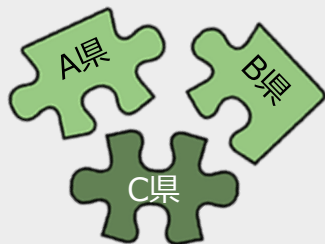


横断的な研究の推進

共同研究・マッチング

同じ課題を持つA県、B県、C県
3県で研究を連携して推進
例えば、稲の害虫の課題(イメージ)

連携により
課題認識が深化し、
地域の取り組みが
国の政策形成へと波及



(具体的な事例) 輸出拡大に向けた技術的課題

課題・ニーズの特定

「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」に基づき、輸出事業者等との意見交換を通じて、品目別の輸出先のニーズへの対応や輸出拡大に向けた技術的な課題の把握を行う。

✓現場ニーズ
輸出先国の残留農薬基準をクリアすることが課題となっているため、輸出向け防除剤や病害虫抵抗性品種の開発が必要。



研究・開発

輸出拡大に向けた技術的課題49課題について、研究課題化の優先順位・実現可能性を検討し、うち40課題について課題解決に資する研究を実施。(令和7年5月時点)

導入・普及

研究開発の実施等により課題解決に向けた一定の成果が得られたものは、農林水産技術会議のHPに公開。

(例) 病害虫に強い茶
「かなえまる」



農林水産技術会議HP

さらに

- ①各県公設試等へ技術紹介
- ②記者発表や対外的なセミナー
メルマガ等への掲載機会
- ③品目団体との勉強会等
を活用し、開発成果を普及。



令和6年度に収集した「技術的課題」

- 興味のある課題一覧を簡単に閲覧できるように、農林水産省ホームページ上で地域や技術分類ごとに技術的課題の概要を一覧表示できる機能を令和7年から追加しました。
- 関係者間で技術開発を要する現場ニーズを共有いただき、生産現場の問題解決を進める際にご活用ください。

現場ニーズに対応した研究開発の推進

研究開発が期待される 技術的課題



農林水産省は、地方農政局等と連携し、管内の都道府県及び関係団体等から、地域における「みどりの食料システム戦略」の実現に資する研究開発を中心としたニーズを取りまとめ、研究課題等の具体化の参考としています。令和6年度に開催された地域研究・普及連絡会議を通じて、農研機構及び都道府県の行政、研究、普及の関係者から458件の現場ニーズを収集しました。

令和6年度に収集した技術的課題（現場ニーズ）

- 概要
- 全データ
- 過去データ

地域ごとに検索

閲覧したい地域のボタンを押すことで移動できます。

北海道 東北 関東 北陸 東海 近畿 中国四国 九州 沖縄

技術ごとに検索

閲覧したい技術のボタンを押すことで移動できます。

栽培 防除 環境対策 スマート農業 環境制御 経営管理 飼養管理 貯蔵加工流通 鳥獣害 その他

技術的課題の解決に向けた研究開発に役立つ情報

- 令和7年度予算概算決定 (PDF: 4,112KB)
- 関係法令・制度一覧
- 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ (Ver.5.0) (PDF: 21,997KB)

- ・ 令和6年度に開催された地域研究・普及連絡会議等を通じて、農研機構及び都道府県の行政、研究、普及の関係者から458件の現場ニーズを収集しました。
- ・ 「みどりの食料システム戦略」に関する現場ニーズは、265件化学農薬138件、化学肥料63件、温室効果ガス36件が多く、
- ・ 作目分類ごとの現場ニーズについては、野菜163件、果樹91件、畜産73件が多い結果となりました。



農林水産省 技術的課題



▲ スマホの方はこちら

COMING SOON 令和7年度も同様に整理して公開いたします。

戦略的農林水産研究推進事業

令和8年度予算概算要求額 1,852百万円（前年度 1,369百万円）

<対策のポイント>

政府戦略や政府方針で掲げる農林水産業に関する目標や目指す姿の実現に向けて必要な技術の研究開発を国主導で推進するとともに、研究成果の社会実装に向け、知財の活用を見据えた研究開発時からの戦略的な知財マネジメントの強化など研究開発環境の整備を実施します。

<事業目標>

- 重要課題に対応する技術を開発し、農林漁業者等がその開発された技術を実践〔令和12年度まで〕
- 知財マネジメントの強化、アウトリーチ活動の展開により、農林水産業・食品産業にイノベーションを創出〔令和12年度まで〕

<事業の内容>

1. 研究開発

政府戦略や政府方針で掲げる農林水産業に関する目標や目指す姿の実現に向けて必要な技術の研究開発を国主導で推進します。

① 食料安全保障強化研究

生産性の抜本的向上や農業生産基盤の持続的な保全等に資する技術の研究開発を推進

② 気候変動適応研究

温暖化に対する適応技術や将来の適地適作予測技術の研究開発を推進

③ 輸出拡大研究

輸出先国・地域の規制やニーズへ対応するための技術の研究開発を推進

④ 環境負荷低減対策研究

みどりの食料システム戦略の実現に資する技術の研究開発を推進

⑤ 革新的技術創出研究

バイオテクノロジーを活用した革新的な技術の創出に資する研究開発を推進

2. 環境整備

研究開発と成果の社会実装を効果的に行えるよう、知財の活用を見据えた研究開発時からの戦略的な知財マネジメントの強化やアウトリーチ活動の展開等の環境整備を行います。

① 戦略的研究開発知財マネジメント強化事業

② 海外・異分野動向調査

③ 先端技術の社会実装の加速化のためのアウトリーチ活動の展開

<事業の流れ>



<事業イメージ>

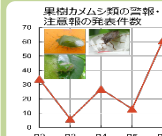
食料安全保障強化研究



【研究内容】
節水型乾田直播等による低コスト・省力栽培技術、頭首工のバイピング監視技術の開発 等

【期待される効果】
生産・労働コストの削減や農業用水の安定的な確保により食料安全保障の強化に貢献

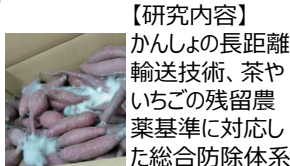
気候変動適応研究



【研究内容】
温暖化により被害が増加している害虫の発生時期の予測及び侵入・まん延防止技術の開発 等

【期待される効果】
気候変動に対応した害虫管理技術を構築し、食料の供給機能の維持に貢献

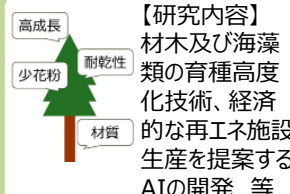
輸出拡大研究



【研究内容】
かんしょの長距離輸送技術、茶やいちごの残留農薬基準に対応した総合防除体系の確立 等

【期待される効果】
農林水産物の新たな販路拡大や所得向上に貢献

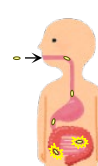
環境負荷低減対策研究



【研究内容】
材木及び海藻類の育種高度化技術、経済的な再エネ施設生産を提案するAIの開発 等

【期待される効果】
農林水産分野における地球温暖化対策の推進に貢献

革新的技術創出研究



【研究内容】
スギ花粉米実用化に向けた安全性・有効性の検証 等

【期待される効果】
バイオテクノロジーを活用した新たな事業の創出に貢献

知財マネジメント強化

研究成果の効果的な社会実装のための知財マネジメントを推進

海外・異分野動向調査

海外・異分野の最新の研究開発動向等を俯瞰的に調査

アウトリーチ活動の展開

先端技術をわかりやすく伝える動画等のコンテンツを作成

【お問い合わせ先】農林水産技術会議事務局研究企画課（03-3501-4609）